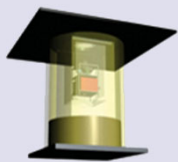
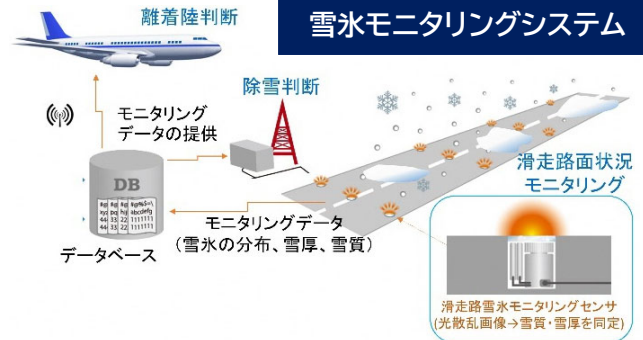


雪氷モニタリングシステム

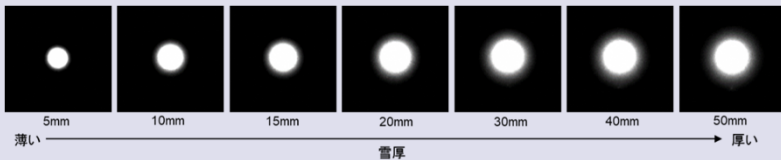
滑走路の雪氷状態をリアルタイムで把握する 世界初の雪氷モニタリングシステム

- 航空機運航の遅延/欠航の低減
- 航空機事故やインシデントの低減
- 雪氷滑走路での運航新基準の運用支援
- 滑走路除雪の適切なタイミングの決定

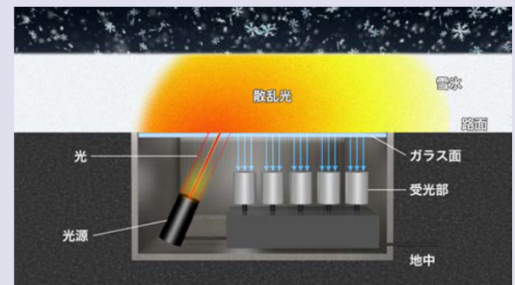


雪氷モニタリングシステムのコア技術* - 埋設型雪氷モニタリングセンサ

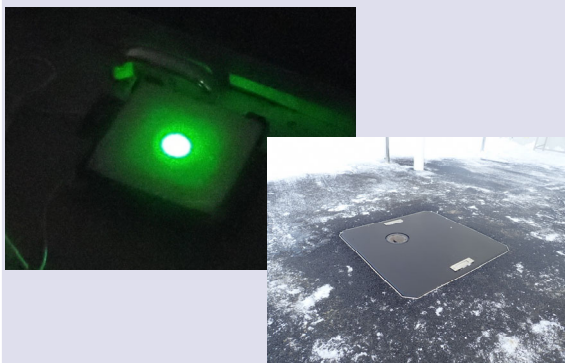
- 埋設型で雪氷内の光散乱状態の計測
- AIで雪の厚さや種類、水・氷などを同定



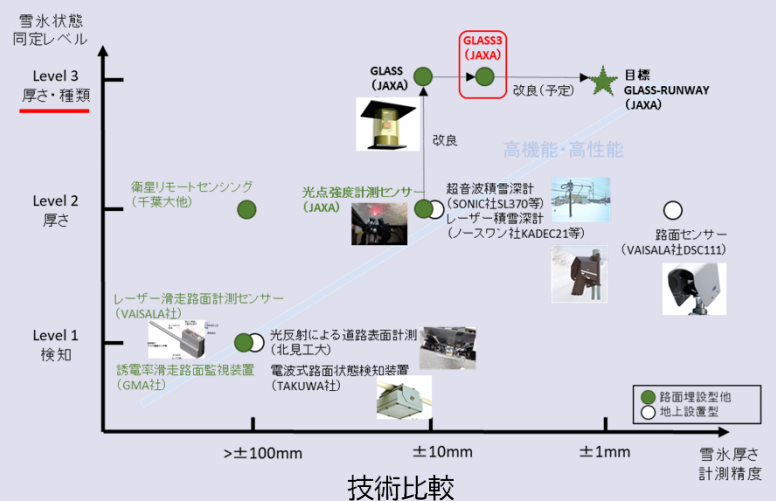
計測例(雪厚に対する散乱光の変化)



センサの構成



埋設型雪氷モニタリングセンサ
GLASS (Ground LASer Sensor for Snow monitoring)
の3世代目プロトタイプ開発 (GLASS3) と実証
2019.2 北見工業大学(北海道北見市)にて



スケジュール



国との連携

- ・将来の航空交通システムに関する長期ビジョンCARATS(Collaborative Actions for Renovation of Air Traffic Systems)
- ・国土交通省研究開発委託(交通運輸技術開発推進制度)
「安全で効率的な航空機の冬季運航を目指した滑走路雪氷モニタリングシステム技術の開発」(2017-2019年)

スピノフ

- ・自動車道路管理
- ・鉄道運行管理

※宇宙航空研究開発機構/北見工業大学/センテナシア/三菱スペース・ソフトウェアの共同開発
※特許6326729, 特許6540992, 米国15/711,385, 特願2017-209152, 特願2017-208077 等